

# Tips for living

## せいかつ 生活 の ひんと ヒント

### 5

## ねん し 年始に つか 使う こと ば 言葉

ねん し 年始 (いちがつ ついたち 1月1日から いちがつ なのか 1月7日までの あいだ 間を いいます)は、

あたらしい とし 年の はじめ

い み という 意味です。



しおじりし  
塩尻市

しみんちいきぶ  
市民地域部

しみんか  
市民課

そうだんがかり  
くらしの相談係

がいこくせきしみんそうだんまどぐち  
外国籍市民相談窓口

# あけまして、おめでとうございます。

2026<sup>ねん</sup>年も、知<sup>し</sup>って いると 役<sup>やく</sup>に立<sup>た</sup>つ こと<sup>こと</sup>を 紹<sup>しょう</sup>介<sup>かい</sup>します。  
今年<sup>ことし</sup>も よろしく お願<sup>ねが</sup>いします。

## 年<sup>ねん</sup>始<sup>し</sup>に よく使<sup>つか</sup>う 言<sup>こと</sup>葉<sup>ば</sup>



### あけまして おめでとうございます。

これは、お正月<sup>しょうがつ</sup> (1<sup>ねん</sup>年の はじめ)にする、あいさつです。

「あけまして」は「あたら<sup>と</sup>しい 年<sup>とし</sup>に なった」という  
意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>が あります。「あけましておめでとう」は、「無<sup>ぶ</sup>事<sup>じ</sup>に  
あたら<sup>と</sup>しい 年<sup>とし</sup>になっ<sup>て</sup>、めでたい (よかつた)」という 意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>です。

### 初<sup>はつ</sup>詣<sup>もうで</sup>

あたら<sup>と</sup>しい 年<sup>とし</sup>になっ<sup>て</sup>、初<sup>はじ</sup>め<sup>て</sup> 神<sup>じん</sup>社<sup>じゃ</sup>や

お寺<sup>てら</sup>に お参<sup>まい</sup>り (お詣<sup>まい</sup>り) に行<sup>い</sup>く こと

です。3<sup>さん</sup>が<sup>が</sup>日<sup>にち</sup> (1<sup>いち</sup>月<sup>がつ</sup>1<sup>いつ</sup>日<sup>にち</sup>～3<sup>みっか</sup>日<sup>にち</sup>や、松<sup>まつ</sup>の<sup>の</sup>内<sup>うち</sup>

(1<sup>いち</sup>月<sup>がつ</sup>1<sup>いつ</sup>日<sup>にち</sup>～7<sup>ななか</sup>日<sup>にち</sup>) に 行<sup>い</sup>く 人<sup>ひと</sup>が 多<sup>おほ</sup>い<sup>い</sup>です。新<sup>あたら</sup>しい 1<sup>ねん</sup>年<sup>ねん</sup>が い  
い<sup>とし</sup>年<sup>ねん</sup>に なるよう<sup>ねが</sup>に お願<sup>あたら</sup>い<sup>まも</sup>を しま<sup>か</sup>す。新<sup>あたら</sup>しい お守<sup>まも</sup>り<sup>か</sup>を 買<sup>か</sup>っ  
たり、1<sup>いち</sup>年<sup>ねん</sup>前<sup>まえ</sup>に 買<sup>か</sup>った 古<sup>ふる</sup>い お守<sup>まも</sup>り<sup>か</sup>を 神<sup>じん</sup>社<sup>じゃ</sup>や お寺<sup>てら</sup>に 返<sup>かえ</sup>した



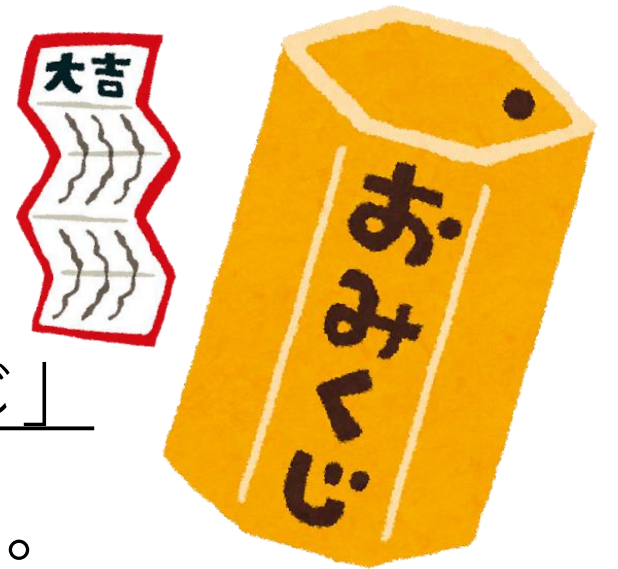
りします。有名な<sup>ゆうめい</sup> 神社<sup>じんじゃ</sup>や お寺<sup>てら</sup>は、大勢<sup>おおぜい</sup>の 人<sup>ひと</sup>が 行<sup>い</sup>きます  
から、並<sup>なら</sup>ぶ こと<sup>こと</sup>が 多<sup>おほ</sup>い です。家<sup>いえ</sup>の 近<sup>ちか</sup>くの 神社<sup>じんじゃ</sup>や お寺<sup>てら</sup>に  
行<sup>い</sup>く 人<sup>ひと</sup>も います。

## おみくじ

願<sup>ねが</sup>い ごと<sup>ごと</sup>や 将<sup>しょう</sup>来<sup>らい</sup>を 占<sup>う</sup>らな ための「くじ」

です。「吉<sup>きち</sup>」や「凶<sup>きょう</sup>」と 書<sup>か</sup>いて あり<sup>あ</sup>ります。

「吉<sup>きち</sup>」は、良<sup>よ</sup>い、「凶<sup>きょう</sup>」は、悪<sup>わる</sup>いという 意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>です。お金<sup>かね</sup>、  
勉<sup>べん</sup>強<sup>きょう</sup>、恋<sup>れん</sup>愛<sup>あい</sup>、旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>、健<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>など<sup>など</sup>が 書<sup>か</sup>いて あり<sup>あ</sup>る おみくじも あり<sup>あ</sup>  
ります。自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の おみくじを 木<sup>き</sup>に 結<sup>むす</sup>んで 帰<sup>かえ</sup>っても 良<sup>よ</sup>い 神<sup>じん</sup>  
社<sup>しゃ</sup>や お寺<sup>てら</sup>も あり<sup>あ</sup>ります。家<sup>いえ</sup>に 持<sup>も</sup>って 帰<sup>かえ</sup>っても 良<sup>よ</sup>い だす。



## お年玉

新<sup>あたら</sup>しい 年<sup>とし</sup>を 祝<sup>いわ</sup>うために、お金<sup>かね</sup>や 物<sup>もの</sup>を

あ<sup>あ</sup>げることです。昔<sup>むかし</sup>の お年玉<sup>としだま</sup>は、お餅<sup>もち</sup>でした。

お金<sup>かね</sup>を あげ<sup>あ</sup>る とき<sup>とき</sup>は、ポチ袋<sup>ぶくろ</sup> (小<sup>ちい</sup>さい

紙<sup>かみ</sup>の 袋<sup>ふくろ</sup>) に 入<sup>い</sup>れて あげ<sup>あ</sup>ます。お父<sup>とう</sup>さんや お母<sup>かあ</sup>さん、  
おじいさんや おばあさん、親<sup>しん</sup>戚<sup>せき</sup>の 人<sup>ひと</sup>が 子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>に お年玉<sup>としだま</sup>を  
あ<sup>あ</sup>げること<sup>こと</sup>が 多<sup>おほ</sup>い だす。子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>の 年<sup>とし</sup>など<sup>など</sup>で、お年玉<sup>としだま</sup>を  
い<sup>い</sup>くら あげ<sup>あ</sup>るか かえ<sup>かえ</sup>ても 良<sup>よ</sup>い だす。





# 日本語の「ため口」や「カジュアルな表現」をつかった 新年の あいさつ

あけおめ！

「明けましておめでとう」を 短くした 言葉

ことよろ

「今年もよろしく」を 短くした 言葉

友達に 会った 時や メッセージを 送る 時に 親しい 間柄で 使う 人も います。



## ため口・カジュアルな表現 とは

「ため口」「カジュアルな表現」とは、「敬語」の 反対で、  
友達や 親しい 人に対して 使う 話し言葉のことです。言  
葉を 短くして 使ったり 語尾を「だよ」「だね」「じゃ  
ん」に したり します。主に 若い人の 間で 流行し  
た 言葉や、話し方です。

がいこく せき し みんな そう だん まど ぐち

外国籍市民相談窓口

市役所 1F 2番窓口

げつ よう び きん よう び

月曜日～金曜日 8:30～17:00

